

生活困窮者を劣悪な施設に囲い込み、生活保護費の大半を搾取する「貧困ビジネス」が全国的な社会問題となっています。

なぜ、このような業者が跋扈するのでしょうか？

その背景には、法律上原則とされている居宅保護（アパートでの生活保護）をホームレスの人々に対しては実施せず、貧困ビジネス業者を便利使いしてきた行政の姿勢があります。さらにその背景には、行政のコンプライアンス（法令遵守）意識や専門性の欠如や、ケースワーカー不足といった構造的な問題があります。

「貧困ビジネス」を生み出さない生活保護行政にするためには何が必要か。

みなさんと一緒に考えたいと思います。ぜひ、多数ご参加ください。

【日時】2010年9月26日（日）

総会 11:30～12:00

集会 13:30～17:00（13:00開場）

【場所】岡崎市民会館 2階集合室1号室

（愛知県岡崎市六供町15番地1）

岡崎市民会館へのアクセス

電 車 JR岡崎駅→名鉄バス乗車→名鉄東岡崎駅

バ ス 名鉄バス名鉄東岡崎駅：名鉄バス2番線乗り場（中町循環除く）  
→籠田公園前（徒歩5分）

タクシー JR 岡崎駅から 2,000円程度、名鉄東岡崎駅から 1,000円程度

徒 歩 名鉄東岡崎駅より北に約25分（2.4km）

【参加費】弁護士・司法書士2,000円

一般500円（生活保護利用中の方は無料）

【プログラム】（敬称略）

○基調講演「貧困ビジネス」とは何か?（仮）

藤田孝典（NPO ほっとポット代表理事、社会福祉士）

○各地からの実態報告

愛知岡崎：船崎まみ（弁護士）／千葉：棗一郎（弁護士）

東京：信木美穂（ホームレス総合相談ネットワーク事務局）

大阪：普門大輔（弁護士）

○パネルディスカッション

コーディネーター 山田壮志郎（日本福祉大学准教授）

パネラー 藤田孝典（NPO ほっとポット代表理事、社会福祉士）

藤井克彦（笹島診療所、反貧困ネットワークあいち共同代表）

小池直人（名古屋市生活保護ケースワーカー）

阪田健夫（弁護士、日弁連貧困問題対策本部事務局次長）

【主催】生活保護問題対策全国会議

【共催】東海生活保護利用支援ネットワーク、反貧困ネットワークあいち

問合せ先 〒530-0047大阪市北区西天満3-14-16西天満パークビル3号館7階  
あかり法律事務所 弁護士 小久保 哲郎（事務局長） TEL 06(6363)3310

生活保護問題対策全国会議

総会・設立3周年記念集会

貧困ビジネスを考へる岡崎集会

貧困ビジネスを生み出さない生活保護行政とは？